

大正時代、高倉左輔氏が牧場として開拓した地域の一部です。当時の姿を残したままの自然林には、コナラの大木が息つき静かな時間が広がります。鳥や昆虫は約130種、特に夏は蝉しぐれが賑やかになります。植物は342種が生息する、市内でも貴重な、深い緑に覆われた緑地です。植物図鑑を片手に、ふれあい広場の緑を探索するのも楽しい一時になります。まむしに注意。